

第2章 豊田市の高齢者を取り巻く状況

I 豊田市における高齢者の現状

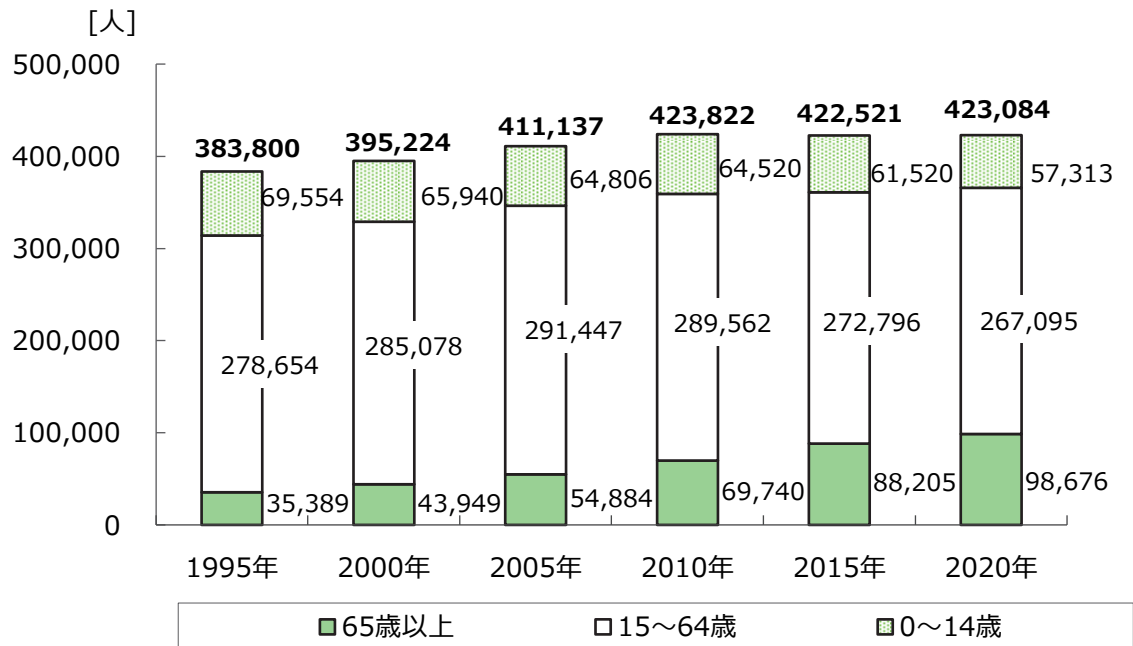
1 高齢者の現状

(1) 人口・高齢者数の推移

本市の総人口は、2020年で42万3,084人です。2010年以降は、ほぼ横ばいで推移しています。また、高齢者数・高齢化率は年々増加しており、2020年で、高齢者数9万8,676人、高齢化率23.3%となっています。一方、生産年齢人口は2005年以降減少しています。

2020年の高齢化率は、愛知県より2.0ポイント、全国より5.3ポイント低い値となっています。

図表2-1 総人口、年齢3区分別人口の推移



出典) 豊田市：住民基本台帳（2005年以降） 総務省統計局：国勢調査（2000年以前）

※ 1995年と2000年は、合併前の7市町村のデータを合算しています（以下、同様）。

※ 国勢調査の総人口には、年齢不詳を含みます。

図表2-2 国・愛知県との高齢化率の比較

単位：%

区分	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
豊田市	9.2	11.1	13.3	16.5	20.9	23.3
愛知県	11.9	14.5	17.2	20.1	23.5	25.3
全国	14.5	17.3	20.1	22.8	26.3	28.6

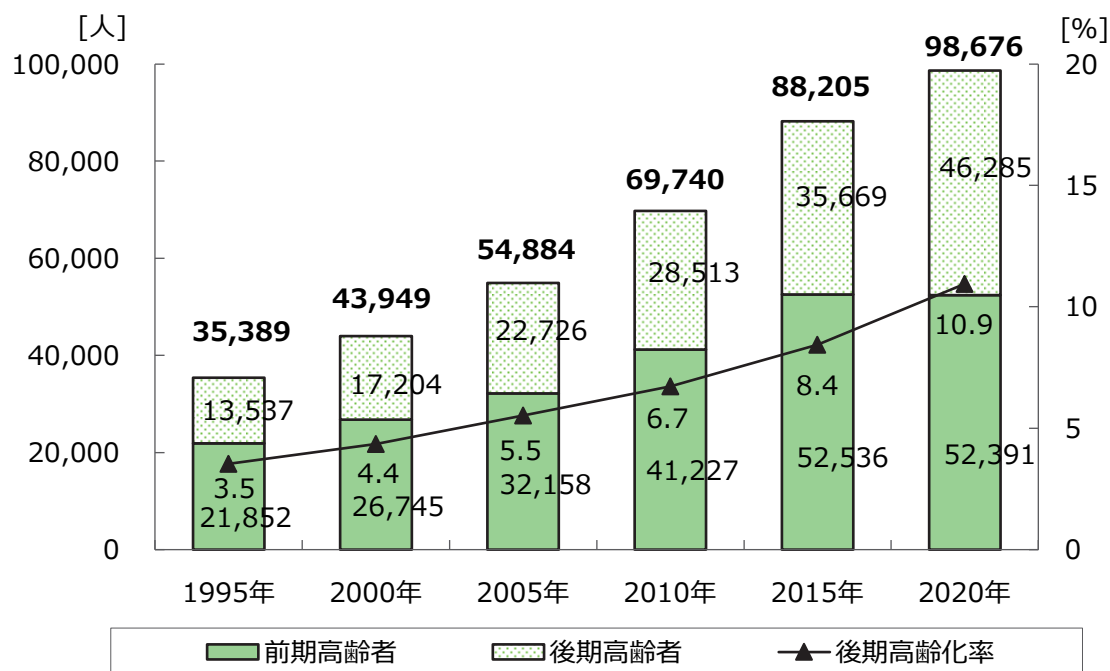
出典) 豊田市：住民基本台帳（2005年以降） 総務省統計局：国勢調査（2000年以前）

愛知県・全国：総務省統計局：国勢調査

※ 高齢化率は、総人口（年齢不詳を含む）に占める65歳以上人口の割合

年齢別の高齢者数を見ると、2020年で前期高齢者数（65～74歳）5万2,391人、後期高齢者数（75歳以上）4万6,285人となっています。1995年からの推移を見ると、高齢者数は年々増加しています。これに伴い、後期高齢化率（総人口に占める後期高齢者の割合）も同様に増加しており、2020年には10.9%となっています。

図表2 - 3 前期高齢者・後期高齢者の人口、後期高齢化率の推移



出典) 豊田市：住民基本台帳（2005年以降） 総務省統計局：国勢調査（2000年以前）
 ※ 後期高齢化率は、総人口（年齢不詳を含む）に占める75歳以上人口の割合

(2) 長寿化の状況

本市の平均寿命は、2020年で男性82.7歳、女性87.8歳となっており、男性は愛知県・全国と比べてやや長くなっています。2005年からの変化を見ると、緩やかに伸びています。

図表2 - 4 平均寿命の推移

単位：歳

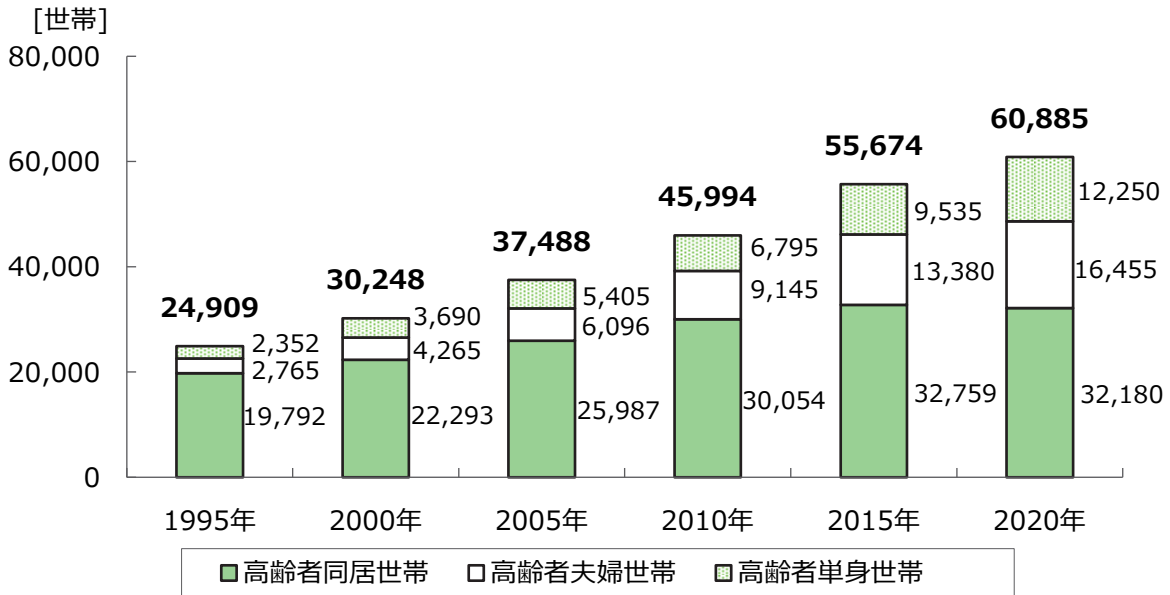
	2005年		2010年		2015年		2020年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
豊田市	80.4	85.9	80.5	86.6	81.8	86.9	82.7	87.8
愛知県	79.1	85.4	79.7	86.2	81.1	86.9	81.8	87.5
全国	78.8	85.8	79.6	86.4	80.8	87.0	81.6	87.7

出典) 厚生労働省：完全生命表、都道府県別生命表、市区町村別生命表

(3) 世帯類型別の高齢者世帯の推移

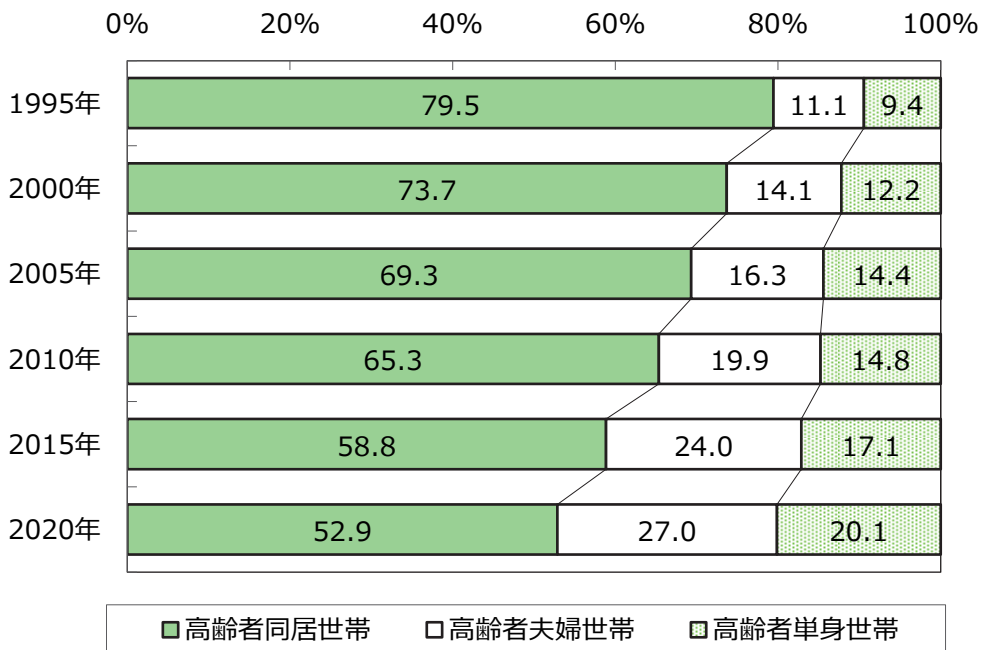
本市の高齢者のいる世帯数の推移を世帯類型別に見ると、高齢者夫婦世帯、高齢者単身世帯数が増加しています。2020年では、単身世帯が20.1%、夫婦世帯が27.0%、同居世帯が52.9%となっています。

図表2 - 5 高齢者のいる世帯数の推移



出典) 総務省統計局：国勢調査

図表2 - 6 高齢者世帯の世帯内訳の推移



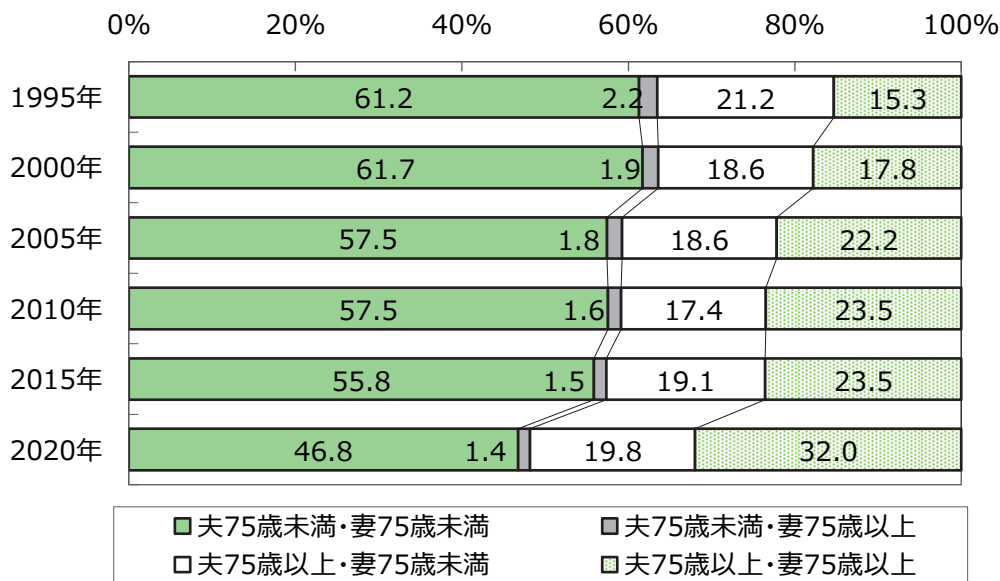
出典) 総務省統計局：国勢調査

(4) 高齢者世帯の年齢構成の推移

本市の高齢者夫婦世帯の夫婦の年齢別割合の推移を見ると、夫婦ともに75歳以上の世帯の割合は、2020年で32.0%となっています。

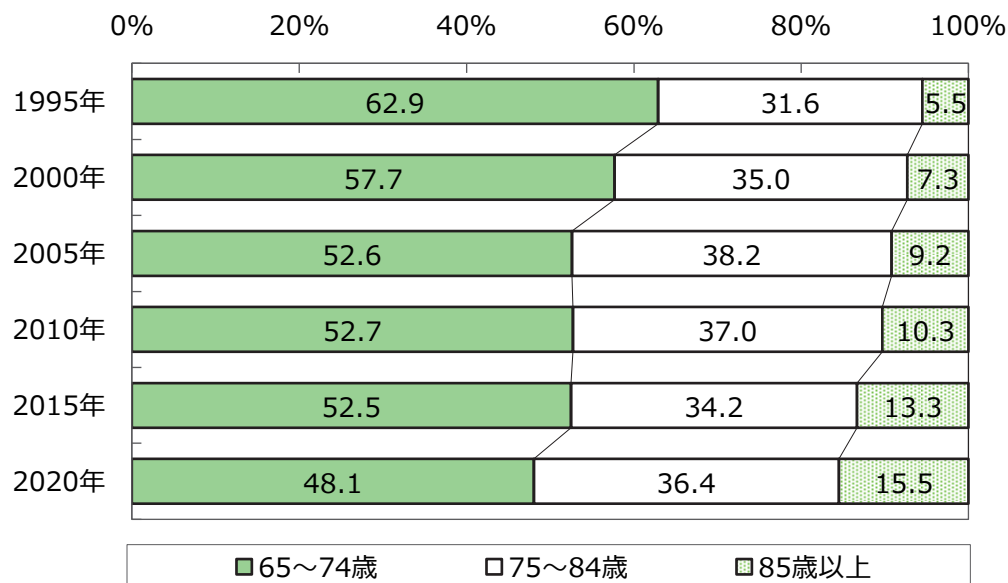
高齢者単身世帯の年齢別割合の推移を見ると、2020年で75～84歳が36.4%、85歳以上が15.5%と、後期高齢者が約半数を占めています。

図表2 - 7 高齢者夫婦世帯の夫婦の年齢別割合の推移



出典) 総務省統計局：国勢調査

図表2 - 8 高齢者単身世帯の年齢別割合の推移



出典) 総務省統計局：国勢調査

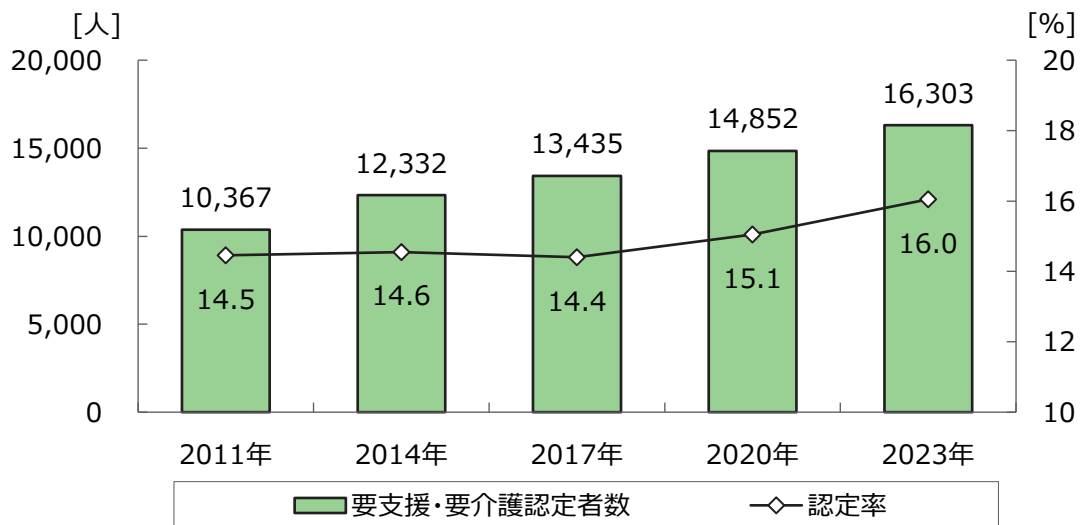
2 認定者の現状

(1) 認定者数の推移

本市の認定者数は、2023年9月末で1万6,303人です。認定者数は年々増加しており2011年と比較して約1.6倍（5,936人増加）となっています。認定率（第1号被保険者数に占める要支援・要介護認定者数の割合）は、2023年9月末で16.0%となっています。

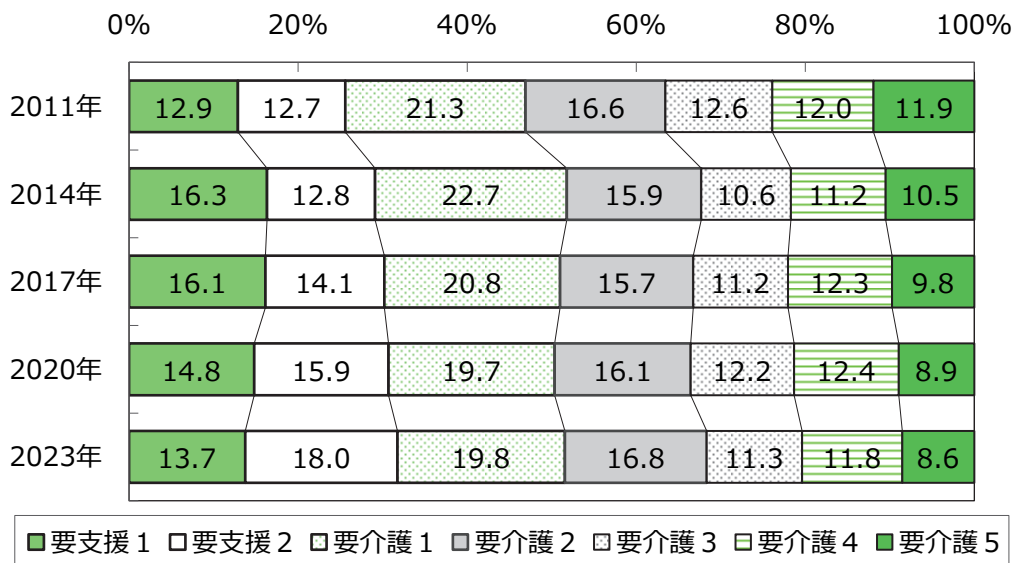
2023年の要介護度別の認定者数の割合を見ると、要支援1・2及び要介護1の軽度者が約半数を占めています。2020年から2023年にかけては要支援2の割合が増加しています。

図表2 - 9 認定者数、認定率の推移



出典) 厚生労働省：介護保険事業状況報告（2011～2014年、各年9月末時点）
豊田市資料（2017～2023年9月末時点）

図表2 - 10 要介護度別認定者数割合の推移



出典) 厚生労働省：介護保険事業状況報告（2011～2014年、各年9月末時点）
豊田市資料（2017～2023年9月末時点）

(2) 認定者の年齢構成

本市の2023年の認定者1万6,303人のうち、第1号被保険者は1万5,926人、第2号被保険者は377人となっています。年齢別に見ると、75歳以上が86.7%、85歳以上が49.4%を占めています。

図表2 - 11 年齢・要介護度別の認定者数

単位：人

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	2,202	2,856	3,192	2,671	1,786	1,878	1,341	15,926
65～69歳	92	121	67	72	62	54	64	532
70～74歳	199	283	175	197	139	153	112	1,258
75～79歳	408	507	399	372	230	235	187	2,338
80～84歳	671	702	795	582	336	368	286	3,740
85～89歳	532	719	970	711	443	443	312	4,130
90歳以上	300	524	786	737	576	625	380	3,928
第2号被保険者	39	79	38	63	52	53	53	377
合計	2,241	2,935	3,230	2,734	1,838	1,931	1,394	16,303

出典) 豊田市資料 (2023年9月末時点)

II 豊田市の日常生活圏域における高齢者の現状

1 日常生活圏域の設定

高齢化のピークを見据えて、生活上の安全・安心・健康が確保される社会システムを構築するためには、介護・福祉・医療・住宅の各領域のサービスを、「日常生活圏域」において、適切に組み合わせて提供することが求められます。

介護保険事業計画では、住民が日常生活を営んでいる地域を「日常生活圏域」として、地理的条件、人口、その他の社会的条件等を総合的に勘案して定めることとなっています。

本市では、高齢者人口、地理的条件、地域特性、交通（主要国道）における人の流れ等を考慮し、第3～8期計画に引き続き、次の8つを日常生活圏域としました。

この日常生活圏域を単位として、地域密着型サービス等の提供や、地域における継続的な支援体制の整備を進めていくことで、介護を必要とする状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域での生活を継続できる仕組みづくりを進めます。

図表2 - 12 日常生活圏域



図表2 - 13 日常生活圏域別中学校区一覧

日常生活圏域	中学校区
拳母	逢妻、朝日丘、梅坪台、浄水、崇化館、豊南
高橋	高橋、益富、美里
上郷	上郷、末野原
高岡	高岡、前林、竜神、若園
猿投	井郷、石野、猿投、猿投台、保見
松平・下山	松平、下山
藤岡・小原	藤岡、藤岡南、小原
足助・旭・稲武	足助、旭、稲武

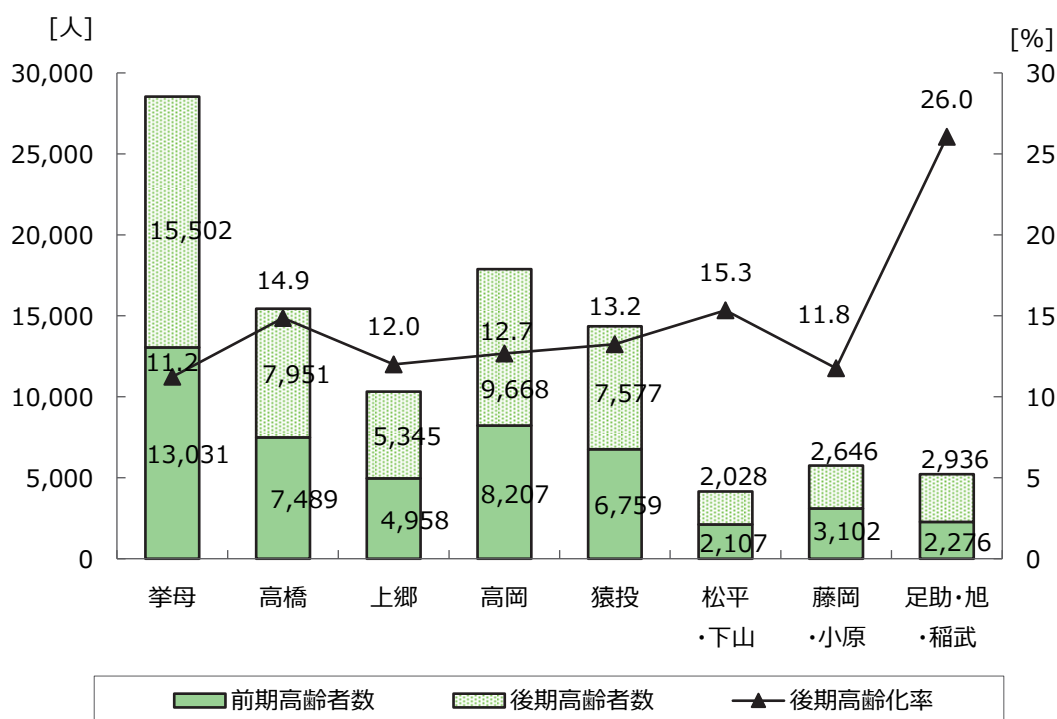
2 日常生活圏域別の高齢者・認定者の現状

(1) 年齢別の高齢者数の圏域比較

2023年の圏域別の年齢別高齢者数を見ると、後期高齢者数が最も多いのは「拳母」で1万5,502人、次いで「高岡」が9,668人となっています。

後期高齢化率は、「足助・旭・稲武」が最も高く26.0%で、次いで「松平・下山」が15.3%、高橋が14.9%となっています。

図表2 - 14 各日常生活圏域の年齢別高齢者数

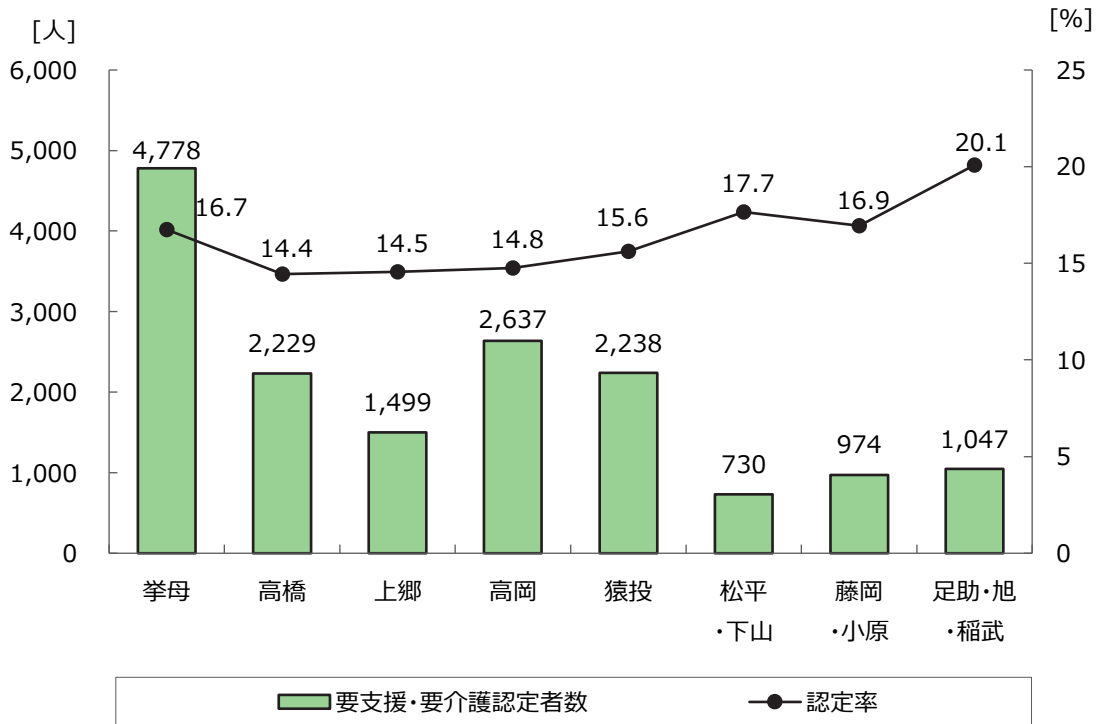


(2) 認定者数・認定率の圏域比較

2023年の圏域別の認定者数を見ると、最も多いのは「拳母」で4,778人、次いで「高岡」が2,637人、「猿投」が2,238人、「高橋」が2,229人となっています。

認定率は「足助・旭・稲武」が20.1%、「松平・下山」が17.7%と他の圏域と比べ高くなっています。

図表2 - 15 各日常生活圏域の認定者数・認定率



出典) 豊田市資料 (2023年 9月末時点)

※ 住所地特例者を除きます。

Ⅲ 豊田市の将来推計

1 人口・高齢者数の将来推計

2023年10月1日の住民基本台帳人口（性別・年齢1歳階級別）を基準人口として、2024～2029年（計画2期分）と2050年（中長期）の人口・高齢者数の将来推計をコーホート要因法※等により行いました。

その結果、高齢者数は2023年と比較して、2026年に2,814人、2029年に5,392人増加する見込みです。前期高齢者数は2028年にかけて減少していく一方、後期高齢者数は増加が続く見込みです。高齢化率は、2026年には25.3%、2029年には26.2%、2050年は34.8%となる見込みです。

※コーホート要因法：ある年次の性別・年齢別人口を基準として、その時間変化を死亡と移動の要因に振り分けて、出生により発生する新たな人口を加える推計方法

図表2 - 16 豊田市の推計人口・高齢化率

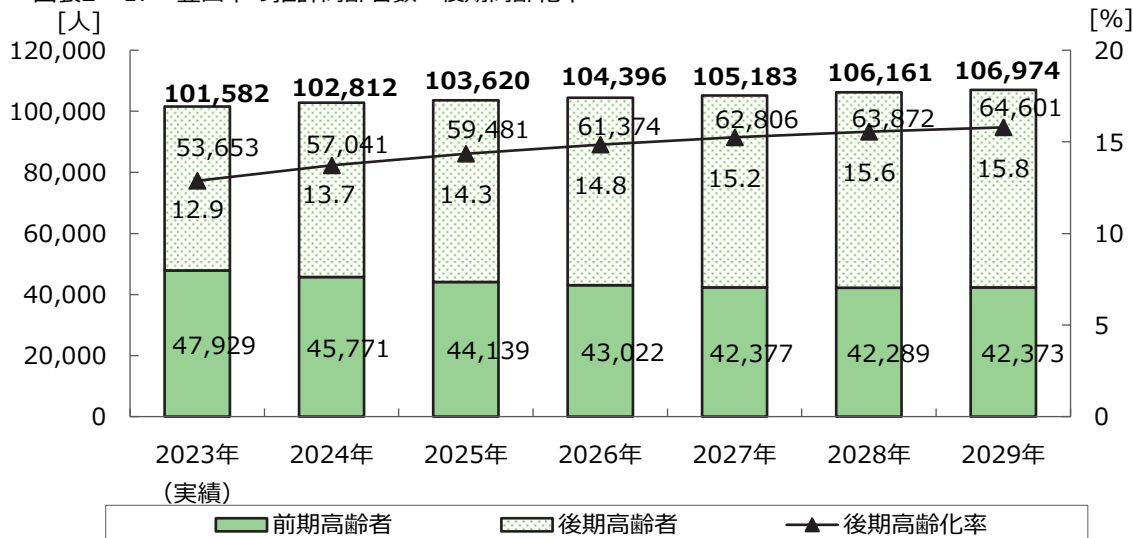
単位：人

	40歳未満	40～64歳	65～74歳	75歳以上	高齢者計	総人口	高齢化率
2023年実績	173,971	141,327	47,929	53,653	101,582	416,880	24.4%
2024年	171,376	141,656	45,771	57,041	102,812	415,844	24.7%
2025年	169,119	141,923	44,139	59,481	103,620	414,662	25.0%
2026年	166,867	142,117	43,022	61,374	104,396	413,380	25.3%
2027年	164,742	142,084	42,377	62,806	105,183	412,009	25.5%
2028年	162,802	141,557	42,289	63,872	106,161	410,520	25.9%
2029年	160,889	141,044	42,373	64,601	106,974	408,907	26.2%
2050年	128,207	105,680	48,922	75,845	124,767	358,654	34.8%

出典) 2023年実績は、豊田市：住民基本台帳人口（10月1日時点）

※ 2024～2050年の推計人口は、各年10月1日時点

図表2 - 17 豊田市の推計高齢者数・後期高齢化率



出典) 2023年実績は、豊田市：住民基本台帳人口（10月1日時点）

※ 2024～2050年の推計人口は、各年10月1日時点

2 認定者数の将来推計

2023～2029年と2050年の性別・年齢階級別推計人口に対し、2023年9月末時点の性別・介護度別・年齢階級別出現率を乗じて各年の認定者数を推計しました。

認定者数は、2023年と比較して、2026年には1,988人、2029年には4,459人増加する見込みです。認定率は徐々に増加し、2026年には17.5%、2029年には19.4%、2050年には21.7%となる見込みです。

図表2 - 18 豊田市の推計認定者数・認定率

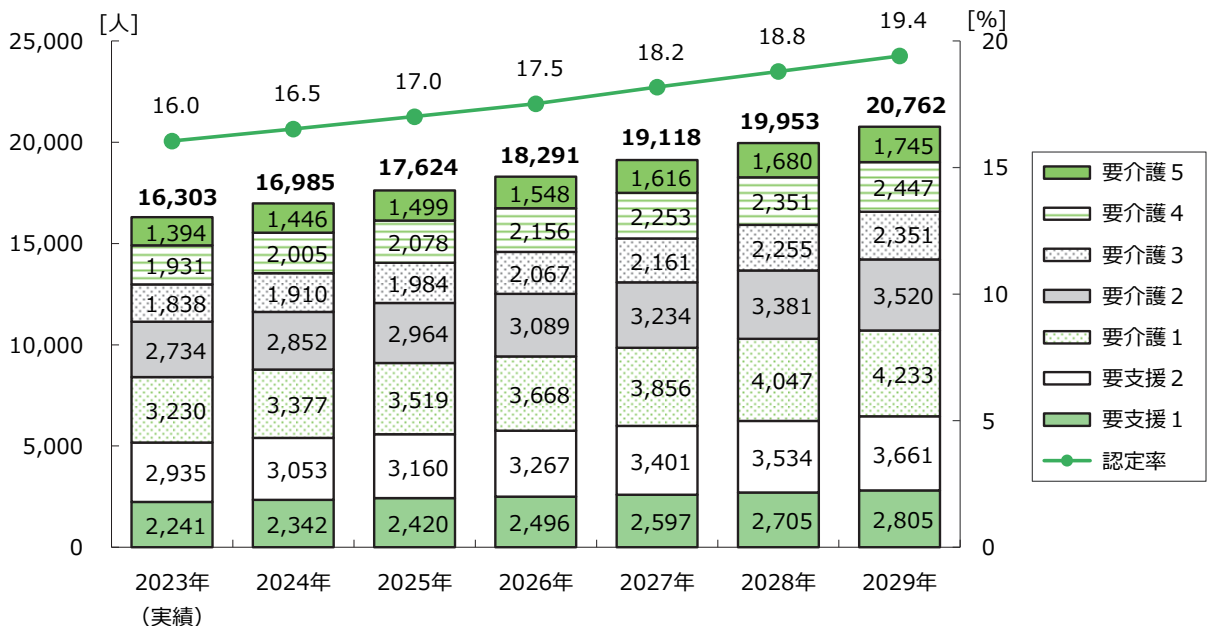
単位：人

	高齢者人口	認定率	認定者数							
			合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2023年実績	101,582	16.0%	16,303	2,241	2,935	3,230	2,734	1,838	1,931	1,394
2024年	102,812	16.5%	16,985	2,342	3,053	3,377	2,852	1,910	2,005	1,446
2025年	103,620	17.0%	17,624	2,420	3,160	3,519	2,964	1,984	2,078	1,499
2026年	104,396	17.5%	18,291	2,496	3,267	3,668	3,089	2,067	2,156	1,548
2027年	105,183	18.2%	19,118	2,597	3,401	3,856	3,234	2,161	2,253	1,616
2028年	106,161	18.8%	19,953	2,705	3,534	4,047	3,381	2,255	2,351	1,680
2029年	106,974	19.4%	20,762	2,805	3,661	4,233	3,520	2,351	2,447	1,745
2050年	121,595	21.7%	26,391	3,260	4,442	5,334	4,571	3,162	3,335	2,287

出典) 2023年実績は豊田市資料

※ 2024～2050年の推計認定者数は、各年9月末時点

図表2 - 19 豊田市の推計認定者数・認定率



出典) 2023年実績は豊田市資料

※ 2024～2050年の推計認定者数は、各年9月末時点

3 日常生活圏域別の人口・高齢者数の将来推計

2023年10月1日の住民基本台帳人口（性別・年齢5歳階級別）を基準人口として、2024～2029年の日常生活圏域別の人口・高齢者の将来推計を、コーホート変化率法※により行いました。

前期高齢者数は2023年から2026年にかけて全圏域で減少しています。後期高齢者数は2023年から2029年にかけて全圏域で増加し、特に「拳母」で2,887人、「高橋」で1,929人、「高岡」で1,871人、「猿投」で1,596人の増加が見込まれます。

高齢化率は、「足助・旭・稲武」が2029年で49.8%と、他の圏域に比べ高くなっています。

※コーホート変化率法：ある年次の性別・年齢別人口を基準として、その時間変化を変化率として捉え、その率が将来も大きく変化しないものとして推計する方法。コーホート要因法に必要な、日常生活圏域別の生残率及び純移動率のデータがないため、コーホート変化率法により推計を行っています。

図表2 - 20 日常生活圏域別の推計人口

単位：人

	拳母			高橋		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
40歳未満	61,169	59,858	59,024	20,498	19,199	18,042
40～64歳	48,472	49,396	49,477	17,585	17,580	17,357
65～74歳	13,031	12,161	12,595	7,489	6,401	5,947
75歳以上	15,502	17,515	18,389	7,951	9,287	9,880
高齢者計	28,533	29,676	30,984	15,440	15,688	15,827
総人口	138,174	138,930	139,485	53,523	52,467	51,226
高齢化率	20.7%	21.4%	22.2%	28.8%	29.9%	30.9%

	上郷			高岡		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
40歳未満	19,800	18,444	17,227	32,840	31,512	30,328
40～64歳	14,489	14,570	14,444	25,662	25,744	25,476
65～74歳	4,958	4,315	4,150	8,207	7,179	7,002
75歳以上	5,345	6,237	6,622	9,668	11,046	11,539
高齢者計	10,303	10,552	10,772	17,875	18,225	18,541
総人口	44,592	43,566	42,443	76,377	75,481	74,345
高齢化率	23.1%	24.2%	25.4%	23.4%	24.1%	24.9%

	猿投			松平・下山		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
40歳未満	24,097	23,773	23,531	4,278	3,744	3,266
40～64歳	18,769	19,333	19,732	4,808	4,485	4,136
65～74歳	6,759	5,891	5,617	2,107	2,080	2,136
75歳以上	7,577	8,725	9,173	2,028	2,265	2,389
高齢者計	14,336	14,616	14,790	4,135	4,345	4,525
総人口	57,202	57,722	58,053	13,221	12,574	11,927
高齢化率	25.1%	25.3%	25.5%	31.3%	34.6%	37.9%

	藤岡・小原			足助・旭・稲武		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
40歳未満	8,512	7,934	7,399	2,777	2,403	2,072
40～64歳	8,256	7,957	7,613	3,286	3,052	2,809
65～74歳	3,102	3,091	3,248	2,276	1,904	1,678
75歳以上	2,646	3,153	3,444	2,936	3,146	3,165
高齢者計	5,748	6,244	6,692	5,212	5,050	4,843
総人口	22,516	22,135	21,704	11,275	10,505	9,724
高齢化率	25.5%	28.2%	30.8%	46.2%	48.1%	49.8%

出典) 2023年実績は、豊田市：住民基本台帳人口（10月1日時点）

※1 2026年、2029年の推計人口は、各年10月1日時点

※2 圏域別の推計人口の合計が、全市の推計人口と一致するよう、差分を圏域別推計人口の構成比に基づいて按分しています。

4 日常生活圏域別の認定者数の将来推計

日常生活圏域別・年齢階級別推計人口に対し、2023年9月末時点の介護度別・年齢階級別出現率を乗じて、2029年までの圏域別の認定者数を推計しました。

その結果、2023年から2029年にかけて、「足助・旭・稲武」以外の7圏域で、認定者数が増加する見込みです。認定率については、「拳母」、「高橋」、「上郷」、「高岡」、「猿投」で大幅に増加する見込みです。

図表2 - 21 日常生活圏域別の推計認定者数

単位：人

	拳母			高橋		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
高齢者人口	28,533	29,676	30,984	15,440	15,688	15,827
認定者計	4,778	5,426	6,214	2,229	2,573	2,983
認定率	16.7%	18.3%	20.1%	14.4%	16.4%	18.8%
要支援 1	686	766	861	311	354	406
要支援 2	892	1,004	1,135	402	459	520
要介護 1	943	1,088	1,271	435	508	597
要介護 2	777	885	1,009	377	442	522
要介護 3	543	622	722	239	277	322
要介護 4	526	597	691	268	309	357
要介護 5	411	464	525	197	224	259

	上郷			高岡		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
高齢者人口	10,303	10,552	10,772	17,875	18,225	18,541
認定者計	1,499	1,721	1,997	2,637	3,011	3,458
認定率	14.5%	16.3%	18.5%	14.8%	16.5%	18.7%
要支援 1	197	222	257	393	446	503
要支援 2	258	290	331	470	530	594
要介護 1	325	380	447	543	629	737
要介護 2	238	278	321	444	516	602
要介護 3	156	181	216	268	304	348
要介護 4	190	219	254	311	352	406
要介護 5	135	151	171	208	234	268

	猿投			松平・下山		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
高齢者人口	14,336	14,616	14,790	4,135	4,345	4,525
認定者計	2,238	2,518	2,857	730	752	790
認定率	15.6%	17.2%	19.3%	17.7%	17.3%	17.5%
要支援1	311	349	393	89	95	98
要支援2	389	438	497	133	139	147
要介護1	412	468	541	151	155	165
要介護2	389	440	500	136	139	148
要介護3	264	298	338	90	92	96
要介護4	286	317	355	79	80	81
要介護5	187	208	233	52	52	55

	藤岡・小原			足助・旭・稲武		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
高齢者人口	5,748	6,244	6,692	5,212	5,050	4,843
認定者計	974	1,064	1,202	1,047	1,034	1,044
認定率	16.9%	17.0%	18.0%	20.1%	20.5%	21.6%
要支援1	111	122	140	125	122	126
要支援2	169	185	211	202	199	199
要介護1	184	203	229	214	210	215
要介護2	156	171	192	188	186	190
要介護3	116	127	143	136	137	135
要介護4	137	147	164	111	109	109
要介護5	101	109	123	71	71	70

出典) 2023年実績は豊田市資料

※1 2026年、29年の推計認定者数は、各年9月末時点

※2 住所地特例の人は除きます。

※3 圏域別の推計人口の合計が、全市の推計人口と一致するよう、差分を圏域別推計人口の構成比に基づいて按分しています。

5 認知症高齢者数の将来推計

認知症とは「アルツハイマー病その他の神経変性疾患、脳血管疾患その他の疾患により日常生活に支障が生じる程度にまで認知機能が低下した状態^{※1}」をいいます。

本市の性別・年齢階級別推計人口に対し、厚生労働省が示す認知症将来推計に関する研究^{※2}の認知症有病率を乗じて、2023～2029年の認知症高齢者数の推計をしました。

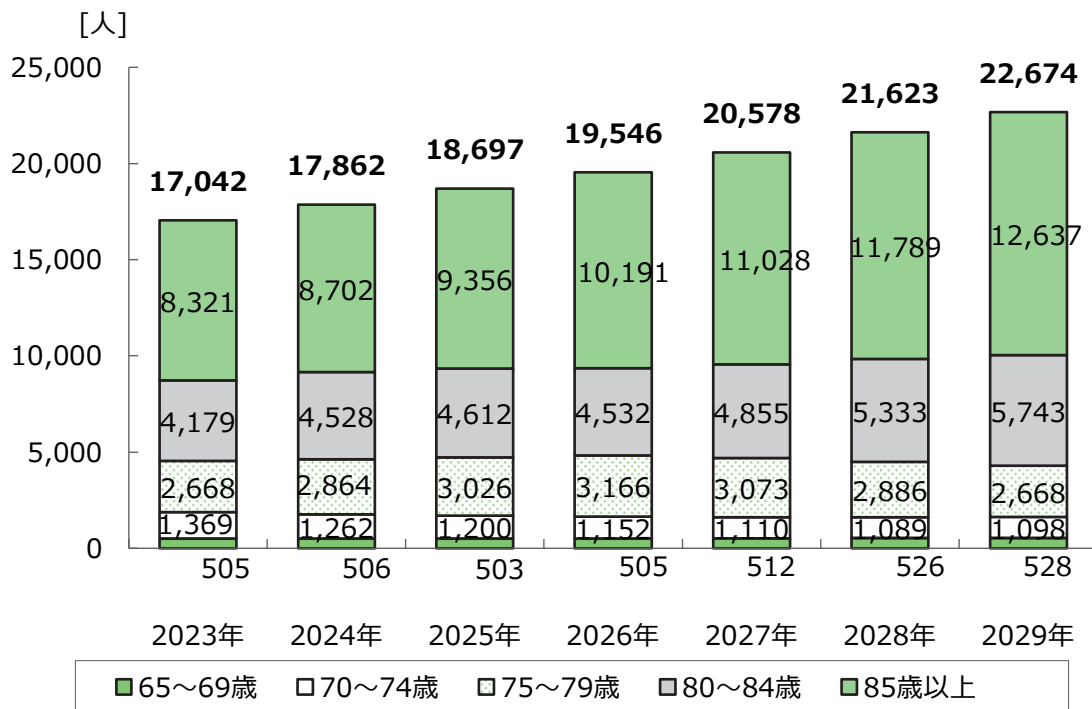
また、糖尿病患者は認知症発症リスクが高いことが認められており、更に今後、糖尿病患者の割合が増加すると予測されていることから、認知症有病率は糖尿病患者が増加するとの仮定に基づいて算出された有病率を採用しています。

認知症高齢者数は、2026年に1万9,546人、2029年には2万2,674人となり、増加基調で推移する見込みです。年齢別で見ると、85歳以上が約5割を占めています。

※1 介護保険法第5条の2第1項

※2 「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（2014年度 厚生労働科学研究費補助金 特別研究事業）

図表2 - 22 豊田市の推計認知症高齢者数



出典) 豊田市推計

IV 市民ニーズ等の把握

1 豊田市高齢者等実態調査

本計画の策定に当たって、日常生活、高齢者福祉、介護保険、在宅医療、介護者の支援、介護人材の確保などに関する現状や意向を把握するために、2022年9月から10月まで、高齢者、介護保険の認定者等、介護サービス事業所、ケアマネジャーを対象に「豊田市高齢者等実態調査」を実施しました。主な結果については、次ページからのとおりです。

図表2 - 23 各アンケート調査の回収結果

調査の種類	配布数（人）	有効回答数（人）	有効回答率（%）
高齢者	3,000	2,259	75.3%
要支援者等	2,000	1,362	68.1%
要介護認定者	2,000	1,242	62.1%
介護サービス事業所	171	132	77.2%
ケアマネジャー	75事業所	112	—

- ※高齢者 : 65歳以上の要支援等・要介護認定者に該当しない人
 要支援者等 : 要支援と認定されている人、及び、介護予防・生活支援サービス事業対象者
 要介護認定者 : 要介護と認定されている人
 介護サービス事業所 : 市内の介護サービス事業所（法人単位）
 ケアマネジャー : 市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー（75事業所に2枚配布）

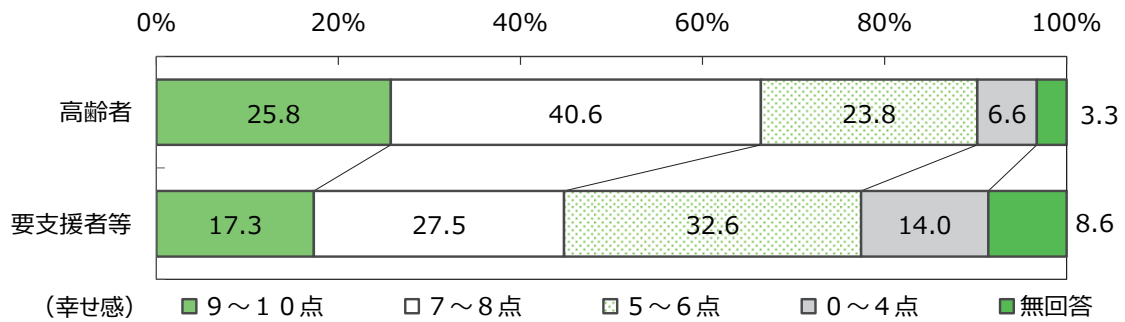
(1) 幸せ感と社会参加

高齢者と要支援者等に、現在の幸せ感^{*}を0～10点の間で回答してもらったところ、高齢者の方が要支援者等に比べて幸せ感の高い人の割合が多い結果となりました(図表2-24)。

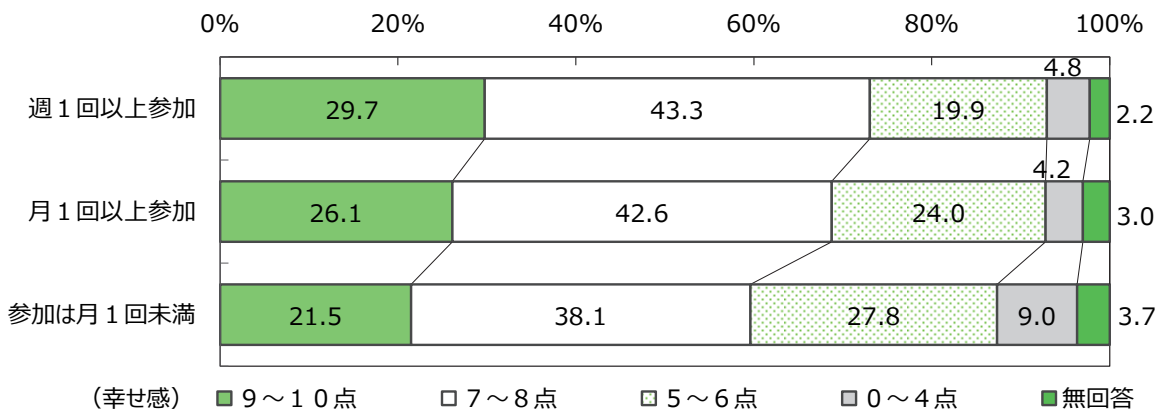
また、高齢者と要支援者等のどちらも、会・グループ活動をしている人ほど、幸せ感が高い傾向にありました。(図表2-25・2-26)。

^{*}幸せ感：現在どの程度幸せかを、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として回答

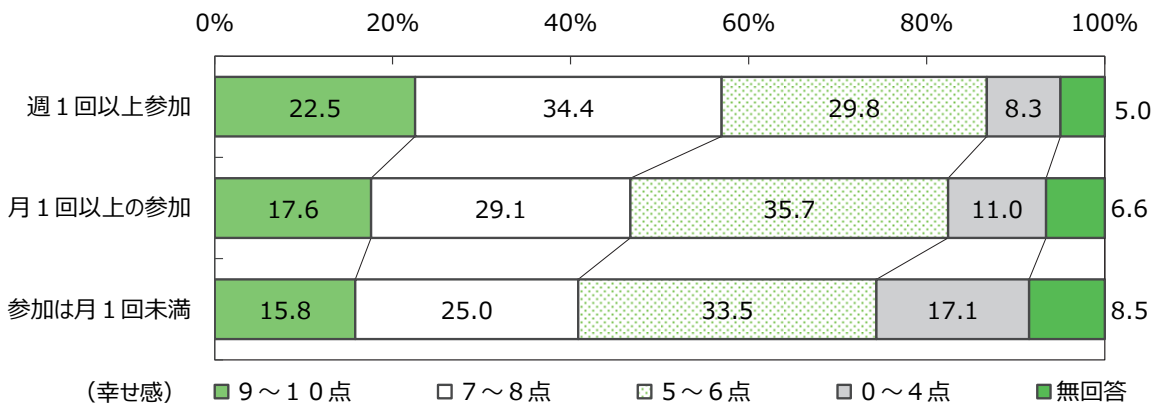
図表2 - 24 幸せ感



図表2 - 25 会・グループ活動と高齢者の幸せ感



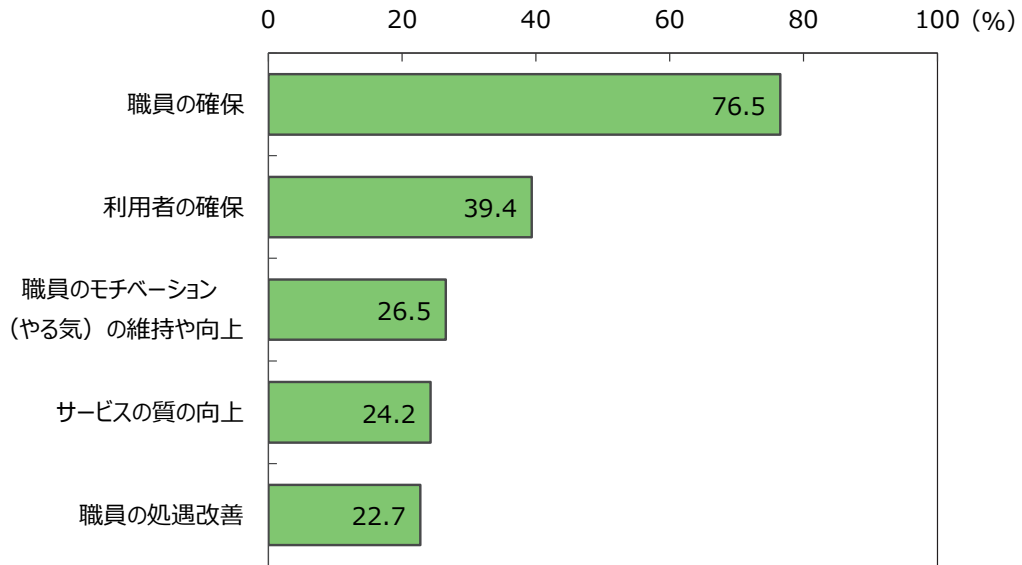
図表2 - 26 会・グループ活動と要支援者等の幸せ感



(2) 介護人材

介護サービス事業所の運営上の課題を回答してもらったところ「職員の確保」と「利用者の確保」が多くあげられました（図表2-27）。

図表2 - 27 介護サービス事業所の運営上の課題（上位5項目） ※複数回答あり

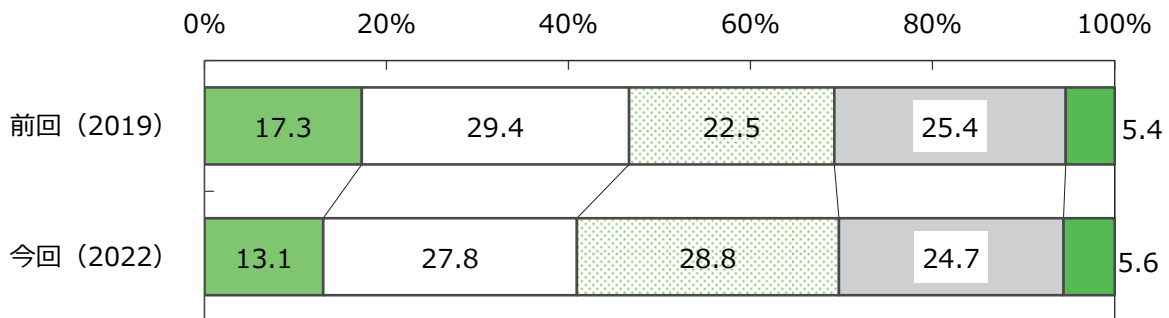


(3) 高齢者の介護や福祉の相談窓口（地域包括支援センター）

高齢者に、介護や福祉の相談窓口である地域包括支援センターの認知度を確認しました。

「利用したことがある」（13.1%）から、「知らない」（24.7%）まで回答が分散しました。3年前の調査と比べると、「聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない」が増加しました（図表2-28）。

図表2 - 28 地域包括支援センターの認知度



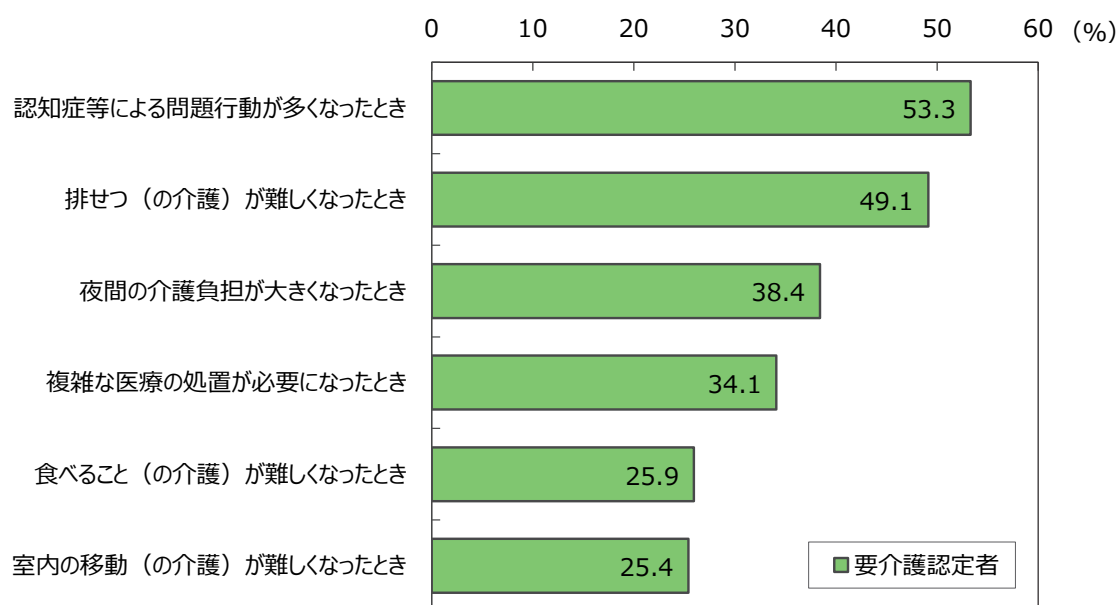
- 利用したことがある
- 利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている
- ▨ 聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない
- 知らない
- 無回答

(4) 認知症

要介護認定者に、在宅での介護を断念し施設等へ入所する原因を回答してもらったところ「認知症等による問題行動が多くなったとき」が最も多くあげられました（図表2-29）。

また、ケアマネジャーに、認知症の人が安心して暮らしていくために取り組むべきことについて回答してもらったところ、「認知症について、住民の理解を深める」、「認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる」、「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」が上位にあげられました（図表2-30）。

図表2 - 29 在宅での介護を断念し施設等へ入所する原因（主な項目） ※複数回答あり



図表2 - 30 認知症の人が安心して暮らしていくために取り組むべきこと（主な項目） ※複数回答あり

